

すべては子どもたちの笑顔のために



響

No. 5

東信教育事務所だより

〒384-0006 小諸市与良町 6-5-5

TEL. 0267-31-0250 (代)

FAX. 0267-31-0140

<http://www.pref.nagano.lg.jp/toshinkyoo/index.html>

平成 29 年(2017 年) 9 月 11 日(月) 発行



2 学期がスタートしました。運動会、音楽会、文化祭などの行事を通して、成長する子どもたちの姿をたくさん見ることができる時期です。授業づくり・学級づくり・学校づくりにおいて実り多き 2 学期としていきましょう。

ページ	シリーズ	内容	
No. 5 の 内 容	1 p	学力向上への取組 4 <理科編>	・振り返りの観点を明確にしましょう
	2 p	学習指導要領改訂 2 学級づくり・児童生徒理解 2	・ 3. 4 年への外国語活動、5. 6 年への外国語導入の趣旨 ・ 行事を通して成長する集団・個人を目指して
	3 p	もっと知ろう特別支援教育 3 「特別の教科 道徳」 2	・ インクルーシブ教育って？ ・ 「特別の教科 道徳」の評価にかかわって
	4 P	生涯学習課からのお知らせ	・ 学社融合フォーラムが開催されます ・ 学校と総合型地域スポーツクラブとの連携 等

シリーズ 学力向上への取組 4 <理科編>

振り返りの観点を明確にしましょう！ <理科編>

理科の授業の振り返りの場面でこんな悩みはありませんか？



児童・生徒の振り返りが「〇〇が楽しかった。」と簡単な感想になってしまうのですが…



児童・生徒が何を振り返ればよいか明確に示しましょう！

例えば、理科の振り返りの観点は…

- ☆自然の規則性を日常生活と結び付けたり、新たな疑問をまとめたりする。
- ☆追究や思考の過程を振り返り、自己の変容を捉えられるようにする。

不明確

例：中 2 「生物と細胞」の植物の細胞を観察した後に、動物の細胞を観察する場面

○気づいたこと・感想・疑問を書きましょう。
今日は、動物の細胞を観察できて楽しかったです。

明確

例：最初の考えが今日の学習を通してどう変わったか書きましょう。

はじめは、動物の細胞は植物と違って一つの細胞の中に核がたくさんあると思っていたけれど、自分の頬の内側の細胞をみたときに、動物の細胞も植物と同じで、細胞の部屋の中に核が一つずつあるのでびっくりした。最後に、友達の細胞も見させてもらったら、やっぱりどの友達の細胞も、核が一つずつだということがわかった。

シリーズ 学習指導要領改訂2

3・4年への外国語活動、5・6年への外国語導入の趣旨



小学校中学年から外国語活動を導入し、「聞いたり」「読んだり」を中心とした活動を通じて、外国語に慣れ親しみ外国語学習への動機付けを高めることとしています。その上で、高学年から発達の段階に応じて文字を「読んだり」「書いたり」することを総合的・系統的に教科学習として行い、中学校への接続を図ることを重視しています。

具体的にどのようなことに気を付けて学習を進めていけばよいのですか？



例えば、外国語活動で扱う I like ~. という表現は、以下のように小学校外国語、中学校外国語につながります。各学年の学びを生かしながら学習を進めていきましょう。

小学校外国語活動
好きなものや言ったり、尋ねたりしよう

A: Do you like animals?
B: Yes, I do. I like animals. 表現への慣れ親しみ



小学校外国語
行ってみたい国を紹介しよう

I want to go to Kenya.
I like animals. I want to see lions. 理由の1つとして活用



中学校外国語
将来の夢について語り合おう

Do you like animals?
I want to be a vet because I like animals very much, especially lions.
I think animals can make us happy. ひろがりのある活用

シリーズ 学級づくり・児童生徒理解2

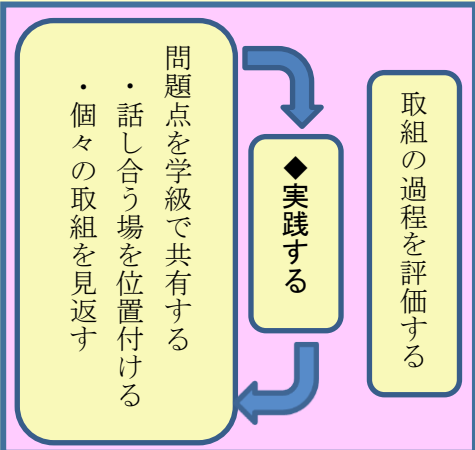
行事を通して成長する集団・個人を目指して



2学期には、小学校も中学校もいろいろな行事があります。行事は、学級集団、児童生徒個人が大きく成長する大切な機会です。学級の中には、行事に向かって意欲的に活動している児童生徒がいる一方で、集団の流れにのれない、目標を見いだせずになんとなく周りに合わせている児童生徒もいるのではないのでしょうか？
普段から行っている活動を、児童生徒の様子を把握しながら意識的に位置付けましょう。

- ◆学級の目標を決める
 - ・行事に向けた一人一人の思いを出し合う
 - ・個々の思いを含めて学級全体の目標を決める
 - ・教室内に掲示する

- ◆自分の目標を決める
 - ・学級の目標達成のために自分ができる具体的な目標を決める
 - ・学級目標と共に掲示する



- ◆活動全体を振り返る
 - ・目標設定から行事のまとめまでを、1枚のワークシートに表して、自分の姿を振り返る
 - ・学級全体で互いの成長を話し合い、共有する場を設定する
 - ・振り返りも目標と共に教室に掲示する
 - ・学級通信等で家庭に伝える

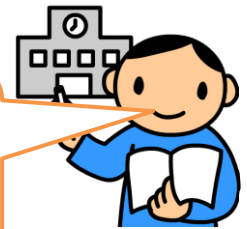


行事を通して、すべての児童生徒が充実感や達成感を味わい、自分や仲間の成長を喜び合うために、集団・自分を振り返り、全体で共有する場を位置付けていきましょう。

シリーズ もっと知ろう特別支援教育 3

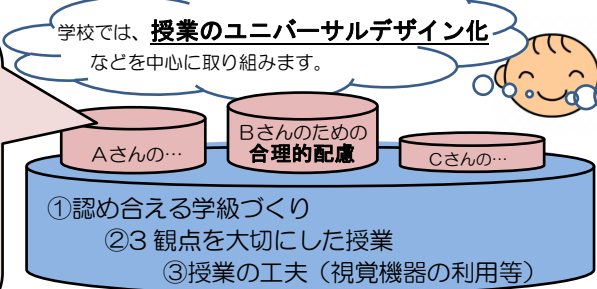
インクルーシブ教育って？

インクルーシブ教育とは、障がいのある人がその能力を可能な限り発達させられる教育の場を提供して、障がいのある人と障がいのない人がともに学ぶ教育です。そして、障がいのある人がよりいっそう参加・貢献できる「共生社会」の実現を目指します。



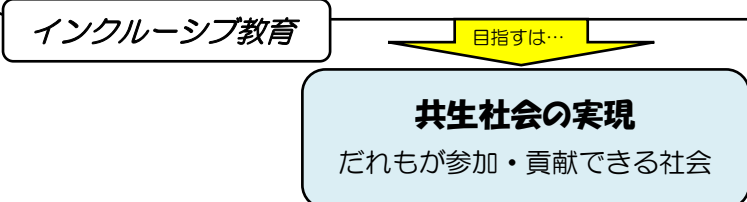
合理的配慮
障がいのある子が、平等に教育を受けられるように

- * 同じスタートラインに (例: 音読でのルビふり)
- * 学習目標到達を目指して (例: 書く困難さに対するワープロ機能の利用)
- * 学習環境への配慮 (例: 間仕切りの利用)



国、都道府県、市町村による、**基礎的環境整備** (支援員の配置やエレベーター設置、様々な学校・学級・教室の整備など)も重要です。

基礎的環境整備



【参考になる HP や資料】

国立特別支援教育研究所「インクルDB」
「<http://inclusive.nise.go.jp/>」

長野県教育委員会 HP 左バナー「特別支援教育」より

- * 合理的配慮実践事例集
- * 教育支援ハンドブック 等

シリーズ 「特別な教科 道徳」 2

「特別な教科 道徳」に向けて

～児童生徒の学習状況や成長の様子を把握するために～



? 学習状況や成長の様子を評価するには、どのようなことが必要ですか？

→ 授業中の発話記録や記述等を児童生徒のエピソードとして集積したり、座席表メモをファイルに蓄積したりする。作文やレポート、協働で問題を解決している様子等を把握することも必要です。

会話・学習カードから 0 小学校 2 年生

話し合い活動の姿から K 小学校 6 年



学習過程を通じて、いかに成長したかを把握するためのものです。



『およげないりすさん』(わたしたちの道徳 小1・2年)
○役割演技を通して、りすさんの気持ちを自分なりにイメージしながら一生懸命考えたAさん。役割演技後には「ぼくだったらありがとうって何回もいいます」と、自分とかかわらせながら考えようとしていた。

『こびりついたガム』(わたしたちの道 6)
○ガムをけずり取るおじいさんの気持ちを考え合う中で、Bさんは自分たちが取り組んでいる「ゴミ拾い登校」と重ねて、思いを伝えていた。友との話し合いを通して、自らの行動を見つめ直す姿が見られた。

参考資料：『「特別な教科 道徳」の指導方法・評価等について(報告)』(道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議)

学社融合フォーラムが開催されます

生涯学習課

社会教育

学社融合フォーラムが以下の要領で開催されます。詳細は9月上旬に郵送・送信される要項を参照し、お申し込みください。

日時 平成29年10月26日(木) 13時30分から16時40分まで

会場 佐久市佐久平交流センター (佐久市佐久平駅南4-1)

日程	13:10	13:30	13:40	15:00	15:15	16:35	16:40
	受付	開会式	シンポジウム(80分)	移動	分科会(80分)	閉会	

シンポジウム

シンポジスト：長野大学社会福祉学部 准教授 早坂 淳さん
：上田市教育委員会 統括コーディネーター 伴 美佐子さん

テーマ：「私たちの子どもたち 子どもたちの未来」

分科会

- 第1 信州型コミュニティスクールの取組
佐久市立野沢小学校CSコーディネーター 元吉 純子さん
- 第2 地域ぐるみの子育ての取組
小諸市立小諸東中学校 教頭 中澤 隆一さん
- 第3 地域の教育機関と連携して、子どもたちの体力向上を目指した取組
東御市立北御牧保育園 保育士 清水 智博さん
- 第4 学校・家庭・地域で子どもたちをネットトラブルから守る取組
上田市城南公民館 社会教育指導員 矢澤智都枝さん
- 第5 信州型コミュニティスクール実践講座
下諏訪町教育委員会 前教育長 小沢 貞義さん



社会人権教育

東信地区人権教育研修会 が開催されました。

7月6日、佐久平交流センターにて、先生方やPTAなど総勢262人が集い、人権について学び合う一日を過ごしました。

午前の全体会では、NPO法人『人権センターながの』高橋典男さんに、部落差別解消推進法の意義と部落差別の現状について、お話いただきました。若い先生からは「部落差別の現状を具体的に教えていただき勉強になった」、人権教育主任の先生からは「結婚差別の学習の参考にしたい」「法律の意義を先生方に伝えたい」など、前向きな感想をお聞きすることができました。

午後は個々の人権課題で、高齢者、犯罪被害者、HIV感染者、障がい者スポーツ、外国人、いじめ問題、人権ワークショップの7つの基礎講座が開催され、希望する講座で学び合いました。

生涯スポーツ

学校と 総合型地域スポーツクラブ との連携

地域に住むすべての人たちが、生涯にわたってスポーツを楽しむことができる総合型地域スポーツクラブ(以下総合型クラブ)が、東信管内には12クラブあります。総合型クラブは「誰でも」「どこでも」「世代をこえて」「好きなレベルで」スポーツを楽しむ場として、地域住民が主体的に運営しているクラブです。子どもたちの運動離れや体力向上にかかわること、中学校部活動との連携にかかわること等を、地域とともに考えていくために、学校と総合型クラブとのつながりを支援します。要請に応じて随時訪問します。

総合型クラブがない地域には…

スポーツ少年団、体育協会、スポーツ推進委員など、地域の子どものスポーツ環境に対して協力的な方々が大勢います。連携をお考えの学校は、こちらもご相談ください。